

2024 筑波・富士 S-FJ 選手権 第 2 戦  
2024 富士チャンピオンレースシリーズ  
2024年4月13日 天候:晴れ 参加12台



テキスト:はた☆なおゆき

今年も全 7 戦で争われるスーパーFJ 筑波・富士シリーズ。そのうち2戦が舞台となる、富士スピードウェイの初戦が 4 月 13 日に開催された。

前回のレース、筑波サーキットでのシリーズ開幕戦について、少し振り返ってみよう。ポール・トゥ・ウインを達成したのは、センドラ船戸アレックス翔太選手(TRS・10V・ED)。長すぎる名前からも明らかなようにハーフで、父親がスペイン出身の 22 歳のドライバーだ。

レース経験は、一昨年の最終戦の一度のみ。この時に2位に入って1年のブランクを経て復帰したわけだが、その時以外にカートレース等の経験はなく、モータースポーツはシミュレータを経験しているだけだという。しかし、予選では、初めて筑波で 58 秒斬りを果たしている。

決勝は、スタート直後のシフトミスで、いったん 3 番手まで落ちたアレックス選手ながら、1 周目の第1ヘアピンですぐ 1 台をかわし、レース中盤には第2ヘアピンでトップに並んで、最終コーナーで逆転。その後はじわりじわりと後続を引き離して、初優勝を飾っている。「ペースを持っている自信はあったので、なんとかインを刺せば抜けると思っていました」とレース後に語ったアレックス選手ながら、そこは舞台が筑波である。抜こうと思って抜けるサーキットではない。

予選タイムといい、思い切りのいいオーバーテイクといい、キャリアの少なさを感じさせなかったドライバーは、果たして富士でも大活躍となるのか。大いに注目したい。

## 公式予選

サーキット周辺、施設内に咲く桜はすでに散りかけていたが、それでもまだ鮮やかで春を通り越して初夏を思わせるような陽気の中、12名によって予選は競われた。

計測2周目、1分51秒台にあと一步と迫る、1分52秒105をマークし、トップに立ったのは黒川史哉選手(ZAP SPEED 10V)。それから2周後に黒川選手は、1分51秒618にまで短縮を果たす。さらに次の周には1分51秒602にまで刻むも、即座に1分51秒586を記して上回ってきたのが、チームメイトであり、2020年の筑波チャンピオンで帰り新参の伊藤駿選手(ZAP SPEED 10V ED)だ。しかし、まだ頂点にあらず。黒川選手は1分51秒415を記して、再度トップに立つ。だが、話題のドライバーがついに来た。それまで1分52秒台に留まっていたアレックス選手が、一気にタイムを詰めて1分51秒195でトップに浮上！これで決まりかと思われたが、まだ諦めていなかったのが黒川選手。終了間際のアタックで1分51秒176を絞り出し、見事ポールポジションを獲得する。アレックス選手との差は、わずかコンマ019秒。

3番手につけたのは伊藤選手で、やはりラストアタックで1分51秒238をマーク。4番手は石井大雅選手(ファーストガレージ制動屋S2)の1分51秒767。5番手が鈴鹿・岡山シリーズを主戦場とする梅本幸汰選手(Rn-Sports 制動屋KK-S2)で、1分51秒954をマークしていた。だが、石井選手、梅本選手とも複数回の走路外走行があり、それぞれ5グリッド、3グリッド降格のペナルティが……。繰り上がって4番手グリッドには、内藤大輝選手(RaiseUP RCIT ED)が着くことになった。

### ポールポジション:黒川史哉選手(ZAP SPEED 10V)

「昨日の練習から調子は悪くなかったので、トップは狙えそうだったので、予想の範疇ではあったかなという、そんな感じでした。前は(10位で)レース前に組んだタイヤが古いロットだったので、サーキット受け取りした新ロット組とのタイヤの性能差が出ちゃったので、僕は外れを引いちゃった感じでした。いま19歳で、保育園の年長から10年間、カートレースをやっていました。前回、悔しかった分、今回は勝ちます！」



### 予選2番手:センドラ船戸アレックス翔太選手(TRS・10V・ED)

「僕のベストは後ろに着いていた時で、セクター3でミスされて、前の車に。スリップ使えなくて、セクター3が単独だったんですけど、調子は悪くなくて、もうちょっとコンスタントに走れば。今回はスタートから決めて、もっといいレースをします」



### 予選3番手:伊藤駿選手(ZAP SPEED 10V ED)

「まあ、全然良かったですね。単独で走って、トップと0.06秒差なので、内容としては悪くなかったと思います。今年の筑波から復帰して、その時はタイヤが全然良くなかったんですよ。それでフラストレーション溜まっていたんですけど、今回は結果が出たので、すごく満足しています。新しいダンパーも入っているんですけど、これも良くて、縁石も積極的に攻められて、すごくいいです」



## 決勝レース



予選に引き続き、さわやかなコンディションが保たれたまま決勝レースが行われた。注目のスタートでは、またしても予選 2 番手のアレックス選手が出遅れ、伊藤選手の先行を許してしまう。一方、ポールシッターの黒川選手は難なくトップをキープ。1コーナーへのホールショットを決めていた。

オープニングラップを終えた時点で、早くも黒川選手、伊藤選手、アレックス選手によるトップグループが形成され、さらにストレートでアレックス選手がスリップストリームから抜け出し、伊藤選手をかわしていた。その後方で 4 番手を競っていたのは酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-SII)と内藤選手、そして梅本選手だ。

4 周目、レースがまず動く。黒川選手のシフトミスを見逃さず、アレックス選手がトップに浮上。そして内藤選手が 4 番手に浮上し、梅本選手がコカコーラコーナーで痛恨のオーバーシュート、順位を落としていた。そのまま逃げたいアレックス選手ではあったが、5 周目のストレートで伊藤選手にかわされてしまう。だが、次の周のストレートでアレックス選手が再び前に。黒川選手は先のシフトミスが響いているのか、前のふたりからやや離されていた。

7 周目のコカコーラコーナーで伊藤選手が、わずかではあったがコカコーラコーナーでコースをはみ出してしまう。これでリードを確実なものとしたかと思われたアレックス選手だったが、決定打にはならず。スリップストリームを有効に使った伊藤選手が、その後に差を取り戻す。そして 11 周目の1コーナーで、伊藤選手が再度トップに。



運命の分かれ道となったのは最終ラップの1コーナー。伊藤選手のスリップストリームから抜け出しかけたアレックス選手ではあったが、逆転するまでには至らず。しかし、これはアレックス選手の狙いどおりだった。ぴたりと背後に食らいついたままインフィールドを駆け抜け、伊藤選手としっかり間合いを合わせて最終コーナーをクリア。ゴールラインまでのストレートで、ずっと脇を抜けてトップでチェッカーを受けることに成功！

その差、コンマ 130 秒という、まさにギリギリの 2 連勝をアレックス選手が飾っていた。

一方、最後はペースを取り戻した黒川選手が 3 位でゴール。そして中盤、そして最終ラップとファステストラップの連発で、徐々に順位を上げていた石井選手が 4 位を獲得。8 周目の1コーナーからコココーラコーナーでは内藤選手、酒井選手と3ワイドの攻防を繰り広げた上で、つかんだ結果だった。5 位は酒井選手、そして内藤選手が 6 位だった。

ジェントルマンクラスでは畠山退三選手が 1 位。秋山健也選手、山根一人選手と繰り広げたバトルを制し、総合でも 8 位でゴールしている。

なお、筑波・富士シリーズの第3戦は、5月5日に筑波で開催される予定である。



2 位 伊藤選手      優勝 センドラ選手      3 位 黒川選手

優勝:センドラ船戸アレックス翔太選手(TRS・10V・ED)

「ミスしたというか、遅いんですね、僕のスタート(苦笑)。黒川選手のペースが最初良くて、そこまでのいと、やっぱりミスもし始めていたようで、シフトミスかなんかして前に出られました。その後も伊藤選手がスリップでずっと着いてきたので、最後のことだけ考えていました。それで最終ラップの1コーナーではあえて前に出ず、最終コーナーから先で抜ける自信があったので。逆に言うと、抜き返される可能性もありましたからね。富士で実際にレースするのは初めてでしたが、シミュレータではいっぱい走っています。ただ、縁石の乗り方とか、違った部分もありました」

2位:伊藤駿選手(ZAP SPEED 10V ED)

「あと 1 周あると思っていたんですが、これで終わりかと。いや～、スリップが思いのほか効きましたね。バトル中なら大丈夫だろうって距離だったんですが、ちょっとスリップ効き過ぎました。でも、いいレースでした」

3位:黒川史哉選手(ZAP SPEED 10V)

「ちょっと力み過ぎて、4速のシフトが本来入るところとずれたところで、バーンと入れようとして、それで入らなかったというのがあって。ちゃんとシフトの位置を確認して、距離をとって走ったら、またタイムも出たので、僕もまだまだなんだなと感じました」



ジェントルマンクラスの表彰 2位:秋山選手 1位:畠山選手 3位:山根選手





# Fuji Champion Race Series Rd.1

4/13-14



2024年 筑波・富士S-FJ 選手権 第2戦

№ 6

## S-FJ 公式予選

2024/4/13 10:10



### 正式結果表

Weather : Sunny

Fuji Speedway(4,563m)

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. km/h
1	15			黒川 史哉	ZAP SPEED 10V	RD10V	1'51.176	11		147.755
2	73			セントラフナト アレックス翔太	TRS・10V・ED		1'51.195	11	0.019 0.019	147.730
3	14			伊藤 駿	ZAP SPEED 10VED	RD10V	1'51.238	9	0.062 0.043	147.673
*1	4	53		石井 大雅	ファーストカレッジ 制動屋S2	KKS-II	1'51.767	11	0.591 0.529	146.974
*2	5	11		梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KKS-II	1'51.954	11	0.778 0.187	146.728
6	22			内藤 大輝	RaiseUP RCIT ED		1'52.039	11	0.863 0.085	146.617
7	55			酒井 翔太	ファーストカレッジ KK-S II	KKS-II	1'52.157	11	0.981 0.118	146.463
8	8	G	1	野村 大樹	WRS NOMURA KKS-II	KKS-II	1'53.288	11	2.112 1.131	145.000
9	38	G	2	畠山 退三	zap speed KK-S2	KKS-II	1'53.460	11	2.284 0.172	144.781
10	3	G	3	秋山 健也	スーパーウイング KKS-ED	KKS	1'53.886	11	2.710 0.426	144.239
11	47	G	4	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KKS-II	1'53.951	11	2.775 0.065	144.157
12	18			水谷 誠	HC桶川MRPYTTZAPED	RD10V	1'55.423	10	4.247 1.472	142.318
13	25	G	5	フェリペ 昌	WRS MASA KKS-II	KKS-II	1'56.636	10	5.460 1.213	140.838

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (2'24.563 - 130% / G : 2'27.608 - 130%) \*\*\*\*\*

2024年 筑波・富士S-FJ 選手権 第2戦

№ 19

## S-FJ 決勝レース

2024/4/13 13:30



### 正式結果表

Weather : Cloudy

Fuji Speedway(4,563m)

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Ave. km/h	Gap	Best Time	Lap
1	73			セントラフナト アレックス翔太	TRS・10V・ED		12	22'31.644	145.029		1'52.107	2
2	14			伊藤 駿	ZAP SPEED 10VED	RD10V	12	22'31.774	145.015	0.130 0.130	1'52.024	8
3	15			黒川 史哉	ZAP SPEED 10V	RD10V	12	22'33.045	144.879	1.401 1.271	1'51.839	8
4	53			石井 大雅	ファーストカレッジ 制動屋S2	KKS-II	12	22'38.059	144.344	6.415 5.014	1'51.802	12
5	55			酒井 翔太	ファーストカレッジ KK-S II	KKS-II	12	22'46.088	143.495	14.444 8.029	1'52.516	11
6	22			内藤 大輝	RaiseUP RCIT ED		12	22'46.124	143.492	14.480 0.036	1'52.631	11
7	11			梅本 幸汰	Rn-sports制動屋KK-S2	KKS-II	12	22'48.763	143.215	17.119 2.639	1'52.667	10
8	38	G	1	畠山 退三	zap speed KK-S2	KKS-II	12	23'01.484	141.896	29.840 12.721	1'53.367	10
9	3	G	2	秋山 健也	スーパーウイング KKS-ED	KKS	12	23'02.993	141.741	31.349 1.509	1'53.650	5
10	47	G	3	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KKS-II	12	23'03.743	141.664	32.099 0.750	1'54.194	11
11	8	G	4	野村 大樹	WRS NOMURA KKS-II	KKS-II	12	23'19.472	140.072	47.828 15.729	1'54.169	10
12	25	G	5	フェリペ 昌	WRS MASA KKS-II	KKS-II	12	23'43.056	137.751	1'11.412 23.584	1'57.011	7
13	18			水谷 誠	HC桶川MRPYTTZAPED	RD10V	12	23'46.317	137.436	1'14.673 3.261	1'56.219	12

\*\*\*\*\* 以上完走 (規定周回数 10Laps / G : 10Laps) \*\*\*\*\*

